

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	デュピルマブからメポリズマブへ切替えた好酸球性副鼻腔炎患者における治療継続性および有効性の検討		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、デュピルマブからメポリズマブへ切り替えた好酸球性慢性副鼻腔炎患者を対象として、切替後の治療継続状況および症状の変化を明らかにすることです。デュピルマブは好酸球性副鼻腔炎に対して有効な治療薬ですが、一部の患者さんでは副作用や効果が十分でないことがあります。そのような場合に、作用機序の異なるメポリズマブへ切り替えることが臨床で行われています。本研究では、切替後の治療経過や有効性に関する知見をさらに蓄積し、今後の治療選択に役立てることを目的としています。カルテの情報を収集し、評価・検討を行います。カルテの情報を収集し、評価・検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	好酸球性副鼻腔炎の患者さんで、2025年7月1日～2026年6月30日の間に東京慈恵会医科大学附属病院にてにてデュピルマブからメポリズマブへ切り替えた方で、18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、併存疾患、デュピルマブ投与歴（投与期間、切替理由）、各評価時点（0、3、6か月）におけるSNOT-22・ACT・鼻茸スコア、再切替の有無・時期・理由	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科講座
		氏名	西村 遥
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	究を実施する施設とその責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 6 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科講座 研究責任者：助教 西村 遥（にしむら はるか） 窓口担当者：助教 西村 遥（にしむら はるか） 電話番号：03-3433-1111（内線 3931） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません